



善正寺だより

掲示板法話

真に美しい花は 泥の中から咲くのです

(高史明)

今月十二日から十六日まで、大谷本廟において、親鸞聖人七百五十回大遠忌法要が勤まります。大谷本廟は、皆様それぞれに肉親の遺骨の納骨にお参りされる所です。親鸞聖人亡き後、諸国の門弟方が深い敬慕の気持ちを抱いて遠路も構わずお参りになったのが、いつしか納骨参拝の慣わしとなりました。「亡き骸は加茂川の魚に与えるように」と遺言されたにもかかわらず、です。なぜでしょうか？聖人を敬わずにおれぬ心情を抱く人々がどんどん増えていったからだと想像されるのです。

「正信念仏偈」の中に、「仏言広大勝解者 是人名分陀利華」という言葉があります。広大な如来様の教えをよく味わい受け止められた人は、白蓮華のように尊い人だと言うことができる、という意味です。白蓮華とは、泥の中に生き、泥を吸いながらもそれを栄養として真っ白い花を咲かせる。誠に尊いことよ、と仏様から誉め讃えられるのです。

このたび、広島県の朋友・Tさんから紹介され十月の月例会でお話頂く前川さんは、「白蓮華のような人」だとTさんは言われます。現在六十二歳の女性で、大学の栄養生理学教室助手を務め、

〒:512-0902
三重県四日市市
小杉町1014
浄土真宗
本願寺派
善正寺
TEL:0593-31-1670
TEL:0593-32-0733

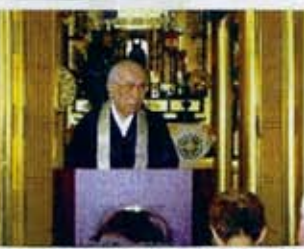
話し方教室の講師を務めました。一九九五年大腸がんの手術後様々な後遺症を併発し、五年後脾臓と胆のうを全部摘出し、呼吸困難のため今も二十四時間在宅酸素療法を続けています。

そのような難病を抱えながら、「どうして？」と誰しも不思議に思います。二〇〇六年入院中に新聞で知った沖繩の医師であり、在家の身で深く仏教に帰依する志慶真文雄氏との縁で「他力の仏教」に目覚め、広島仏教学院に入学し、昨年には得度されました。

得度習礼中には長時間の正座で足がパンパンにはれて、寝床で泣いたとか。今では、今は酸素吸入量がピークの半分に減り、志慶真医師を訪ねて沖繩に旅するまでに快復したのです。この間、彼女をずっと支え続けてこられたお母様がアルツハイマーになられたので、母への「恩返しに全国の花を見せたい」と思い立ち、全国講演を「花巡礼」と名づけたのです。クインエリザベス号の船中で出会い、知遇を得た作家の宮尾登美子さんの北海道の文学館を皮切りに、沖繩の志慶真小児科医院道場(ハイビスカス・仏桑華)をゴールとする花巡



礼を開始され、このたび拙寺でのお出會いとなった次第。お布施も交通費も不要とおっしゃるので、「ご意志を尊重し、ただ感動の証しとして、「同じような悩みを持つている人たちと交流したい」といわれる法縁を提供させていただくだけです。皆さん、「白蓮華」のような方との出会いにぜひお越しく下さい。



体験交え、石川先生感動法話

仏教会追悼法要・2009:60年以上続く地域の絆



お寺初めての人も熱心に聴聞の姿に感動を頂いた！

☆行事ご案内☆

☆10月18日(日)夜7時半:例会

講師:前川多恵子先生(広島県)「花巡礼の旅」

文筆家で僧侶。ガンの後遺症と闘いながら、酸素吸入器をつけ、高齢のお母様を伴って、全国を講演活動。興味深いお話が聞けますので、どなたでもお誘い合わせて、お参り下さい。

♪三重組コーラス♪

- ※10/7(水)午前10時半・陽光苑お誕生会慰問33回目!
- ※10/31(土)夜7時半、小杉練習2009「御堂演奏会」
- 10/25(日)2時、朝明プラザ、ピアノとフルート演奏会(伴奏の渡辺暁美先生出演)※11/3午後光了寺(報)、11/15夜西勝寺出演、11/22(日)御堂演奏会大型バスで参加7回目

◇キッズサンガ

10/3(土)午後4時お経、ゲーム、紙芝居など。
※毎日夕方5時の鐘撞きは誰でもつけます!年中無休ですご褒美ガム、飴が大人気。放課後は境内や卓球場が子供の遊び場新しいお友達が増えてきました。どなたでも入れます。

◇一線会テレホン法話059・354・14543分間法話聞けます

予告11/23午前「秋勧進」、行事さんよろしく、11月夜の例会は無し
善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索OK
新着情報や『住職と坊守のつれづれ日記』おススメ!ほぼ毎日更新!アクセス1万2千回。お気軽に相談を!即返信。

坊守スケッチ

家族の歴史を語り継ごう

親を亡くした人が「葬儀と一連のお参りも無事終えて、ほっとしている。これから親の遺品を整理しなくてはならない。兄弟姉妹に相談しても、そんなガラクタは要らない。欲しいのは遺品よりも遺産だけ。親がいつかは役立つ時が来るだろうと、大事にしまっておいた物を、ガラクタ扱いとは情けないねえ」と嘆いていた。

「泣きながら 良いほうを取る 形見分け」という川柳があるが、親を思う気持ちと欲得とは、比例しない。一緒に住んでいないと、親の苦労が伝わりにくい。親は何一つ贅沢な暮らしをせずに、田んぼや家を守ってきたのに、子供や孫の時代になるとさっさと処分してしまう。

現代は、家族の歴史を語り継ぎたくても不可能。一人暮らしや高齢者世帯が多いから。子供と同居していても、会話は少ない。サラリーマン川柳に「無料で 家族間の 通話なし」ペットの犬には言葉を掛けても、家族には挨拶すらしない。家族バラバラな生活ぶりが伺える。

九月には敬老の日があった。子供達からプレゼントをもらうよりも、子供達に大事なことを伝える日にしたらどうだろうか？聞いてもらう機会が無いならば、手紙にしたらいいだろう。あなたが亡くなって、子供達が遺品を

整理した時に、どんな反応を示すか、思いのたけをいっぱい書いて欲しい。

実は私の母も、亡くなる十年前に書いたと思われる手紙が、遺品の中から出てきた。それは孫(私の子供達)に宛てた手紙だった。「贅沢な暮らしを望むな。いざと言う時のために儉約せよ。健康管理に勤めよ。何事も心掛けが大事。自分の責任で人生を切り開け等」、様々な人生訓が書いてあった。

近頃流行っている『手紙』親愛なる子供達へ(樋口一歌)という歌がある。これはポルトガル語で書かれた手紙を日本語に訳して曲をつけた。介護される親の立場から、子供に向けたメッセージソング。秘かなブームになっている。歌うには難しいが、歌詞が素晴らしいので、その一部を紹介する。

「あなたの人生の始まりに、私がしっかりと付き添ったように、私の人生の終わりに、少しだけ付き添って欲しい。あなたが生まれられたことで、私が受けた多くの喜びと、あなたに対する変らぬ愛を持って、笑顔で答えたい」

子供は自分ひとりで大きくなったように思うが、どれほど親のお慈悲に育てられたことか！その恩返しだと思えば、介護も決して辛いものではない。一体いつの間に、介護は他人任せになってしまったのか？それは家族の歴史を語り継ぐ努力を、怠ったからか



も知れない。自分のルーツ、身近な家族の歴史を学んで、ご先祖の願いをしっかりと受け止めて欲しい。あなたもやがて辿る道だから。

☆寄稿

四日市市 川崎孝一

☆琉球が 母国だったか 咲き止まぬ
オーシャンブルー 伊勢の国でも

☆ラミレスのパフォーマンス真似る児の
堂に入る所作 法座賑わす

☆秋立ちて 蜘蛛の捨て行く 糸に垂る
桜の枯れ葉 緩る緩る廻る

☆雨の日は 苅田に燃やす 粉殻の
燻る煙 低く棚引く

四日市市 釈 弘運
☆何度聴いても 変れぬ私
そんでええよと 阿弥陀様

四日市市 釈 恩厚
☆国定忠治を 唄う私に
菅笠 合羽 雪駄も集り 心嬉し

☆カンバ有難う☆
AI様・TI様・TG様、他匿名様多
数より切手、お志有難うございました。

キッズサンガ・杉の子合唱団
◇九月五日(土)午後四時より
お経・ゲーム・紙芝居。お友達誘って
来てね！夕方五時の鐘撞きは毎日。

☆ホットニュース☆

☆十月十八日(日)夜7時半、「花巡礼の旅」講師、前川多恵子先生(広島県)

難病と闘いながら、高齢のお母様と全国を自分の体験談を交えながら講演。興味深いお話が聞けます。お誘い合わせて多数お参り下さい。(別紙参照)

☆善正寺のホームページが公開！仏事に関する相談、お悩み等気軽に、「三重善正寺」で検索可。

※「住職と坊守のつれづれ日記」がおススメ、好評！ほぼ毎日更新。おかげさまで開設一年二ヶ月、アクセス数が一万二千回を突破！今までお寺と縁がなかった方や若者、子供の訪問に感謝。

♪三重組コーラス♪

☆十月七日(水) 陽光苑慰問33回目

☆十月三十一日(土)夜七時半 練習

2009 御堂演奏会の歌6曲

※十一月三日午後、光了寺(報)出演

※十一月十五日夜西勝寺(報)出演

※十一月二十二日京都御堂演奏会

7回目、バス7時半小杉、8時校

参加費6千円未納の方は当日までに

※十月二十五日(日)午後二時あさけ

プラザ、コーラス伴奏渡辺曉美先生とフ

ルート協演、チケット千五百円発売中

※原則として毎月最終土曜日の夜練習

☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」第一九〇号をお届けします。◇京都駅に巨大広告「安穩」がある。大谷本廟の法要、奮ってお参りを。「仏法広まれ」の思いを新たにしたい。

「天高く馬肥ゆる秋」となりました。味覚の秋、新米の美味しい季節です。好き嫌いなく何を食べても身に余るタイプの私は要注意の季節です。先日ある集まりで高岡へ出かけました。夕食は北陸の海の幸、朝食はずらりと並んだバイキング。旅慣れない私は物珍しきも手伝って並んでいる料理を一通りお皿に、おそろく普段の朝食の3倍の量とカロリーです。取り終ってから「まあいいかめったにないことだから」と、自分を納得させています。バイキングというのは人間の弱さを上手についたシステムです。好きな物を好きな量だけと、一見お客様本位のようにもすが、後が恐い。はちきれそうな満腹感で動くのさ元億劫。移動は車や列車で運動不足、帰宅してから体重計に乗る恐怖。なな、何と一日で一キロもオーバーしているし、「食欲知足」を説きながら、食欲の誘惑に負けて、自制心を失った我が身の愚かさに気づかされました。「腹八分」は健康維持にも不可欠、欲望に負けて後悔するよりも、自分で自分をコントロールできるように、日々是精進の心で味覚の秋を楽しみたいと思います。ところで10月18日(日)夜に別紙案内のように、広島県呉市より前川多恵子先生の講演会を企画しました。難病と闘いながら高齢のお母様を連れての「花巡礼の旅」と興味あるお話が聞ける絶好の機会ですので、お誘い合わせてお参り下さいませよう。ご案内申し上げます。まず、講演後、歌を一緒に歌うコーナーも用意しています。

平成二十一年十月 合掌

善正寺坊守様